



# 各部の名称

◆本書に記載している時計のイラストは操作説明用です。実際の製品とは異なることがあります。

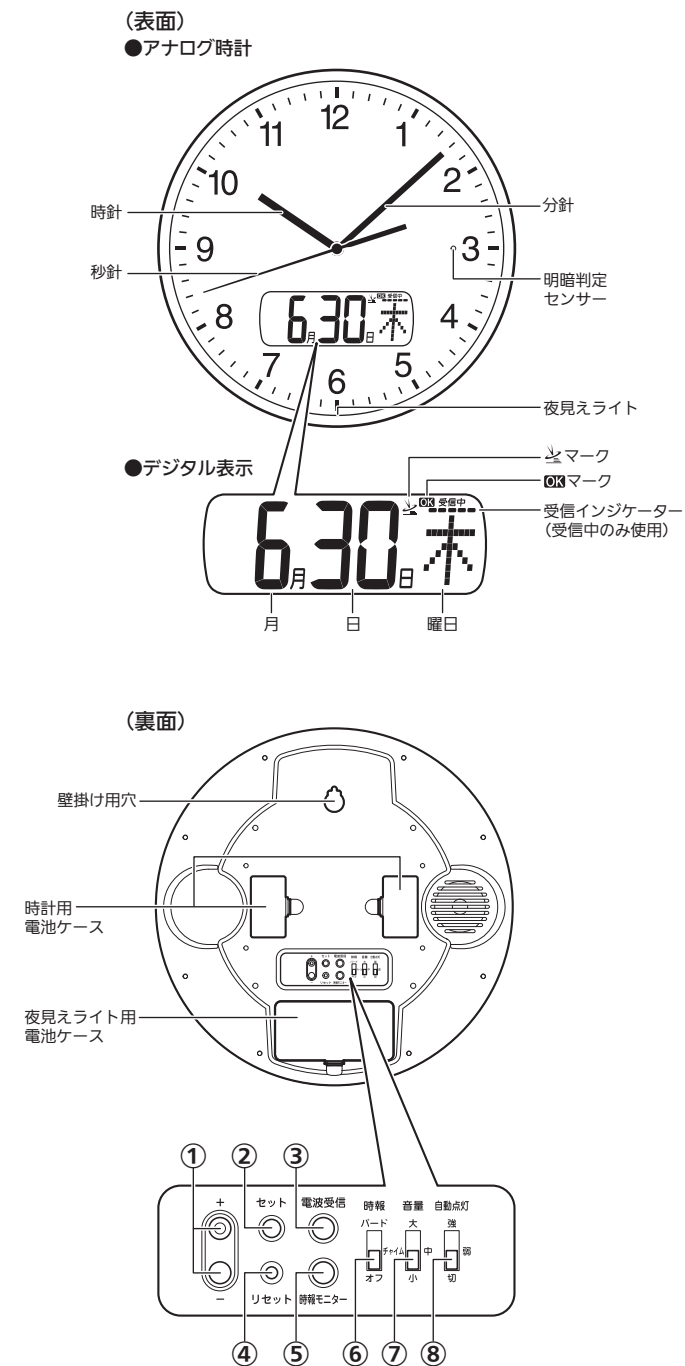
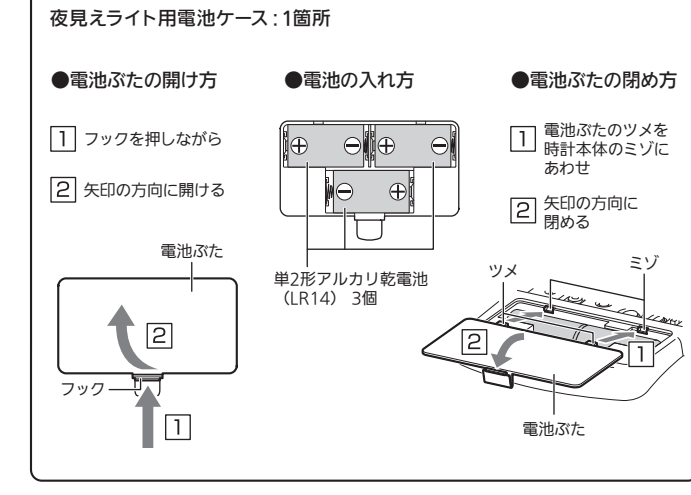
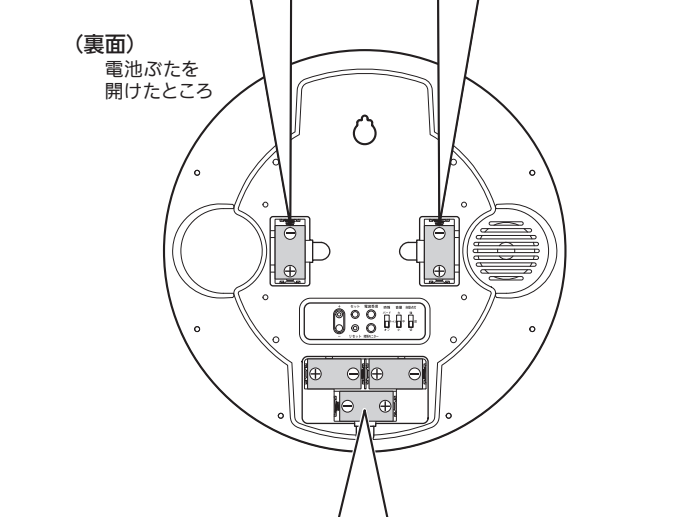
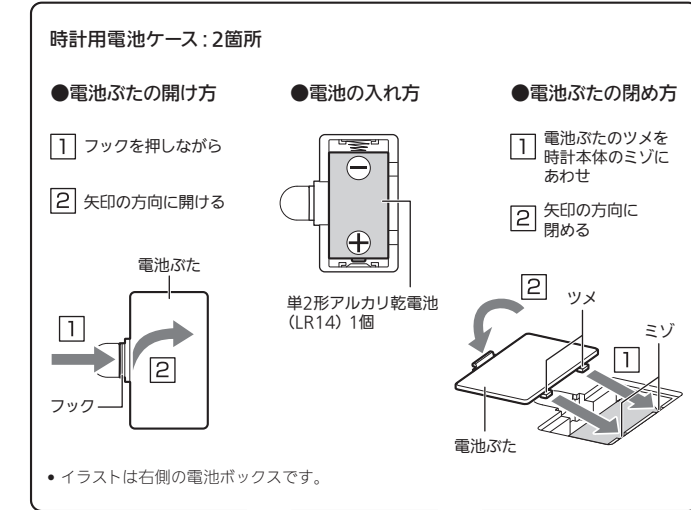


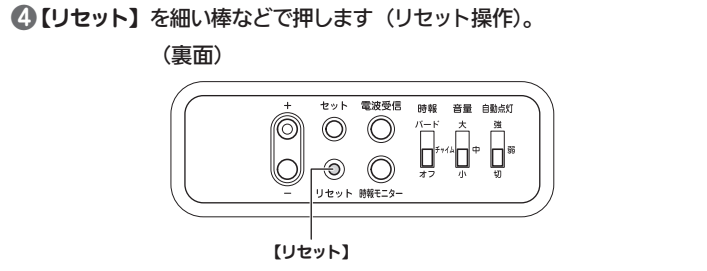
Table with 2 columns: 本書の記載 (Book Description) and 説明 (Description). Rows include buttons for +/-, [セット], [電波受信], [リセット], [時報モニター], [時報]スイッチ, [音量]スイッチ, and [自動点灯]スイッチ.

# はじめてご使用になるときは

- ① 時計に表示例シールが貼ってある場合には、シールをはがします。
② 時計と電池を、設置する場所に持っていきます。
③ 電池を入れます。電池は全部で5個使います。



注意
・時計用電池は、1年に1回交換してください。また、電池交換は、基本的に5個全部交換することを推奨しますが、夜見えライトを「強」にしたり、比較的暗い部屋で使用して点灯時間が長くなった場合は、ライト側の電池寿命が1年末満になります。

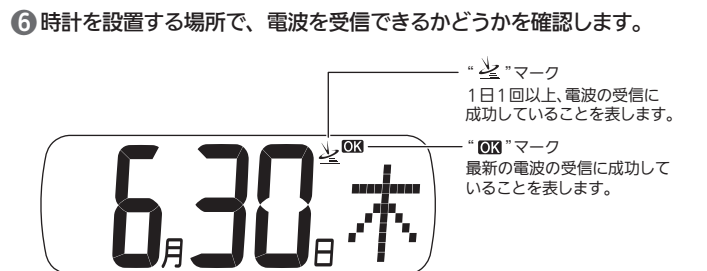


・時計、分針、秒針が12:00:00に向けて動き始めます。12:00:00になると自動的に電波受信を開始します(針は12:00:00の位置で停止します)。



・受信動作中は、受信インジケータが点灯/消灯します。
・置いた場所が電波受信しやすいかどうかを受信インジケータで確認します。

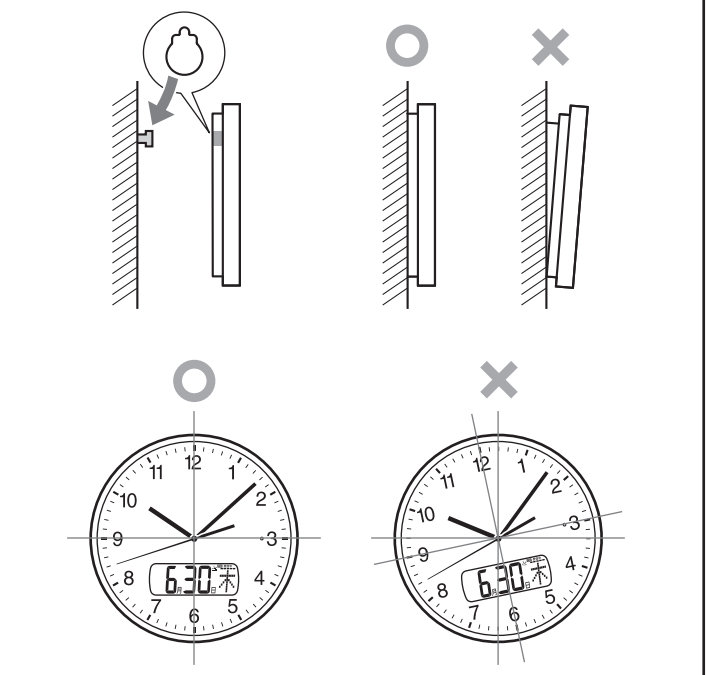
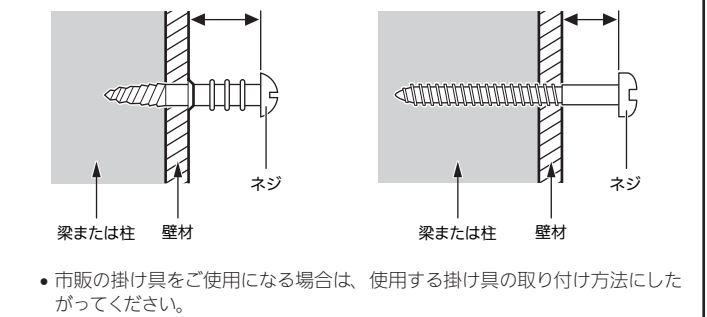
・受信しやすい場所でも、インジケータが4個点灯するまで16秒程度かかります。
・電波受信が終了するまで時計に触らないでください。
・電波受信が終了するまで最長で約10分かかります。
・電波受信を中止したいときは、【電波受信】を押します。
・インジケータが4個以上点灯していても、受信に失敗する場合があります。



＜電波を受信できたとき＞
現在の年月日と時刻に修正し、「電波受信成功」マークと「電波受信成功」マークが点灯します。
＜電波を受信できなかったとき＞
年月日や時刻を修正しません。「電波受信失敗」マークと「電波受信失敗」マークは点灯しません。

# 壁掛け時計として使う

- ① 時計を設置する壁の状態を確認します。
② 時計を設置する前に「電波を受信できるかどうか」を確認します。
③ 掛け具を壁に取り付けます。
④ 時計の裏面にある壁掛け用穴を掛け具にかけます。



注意
・ボタンやスイッチを操作するときは必ず時計を壁から取り外してください。

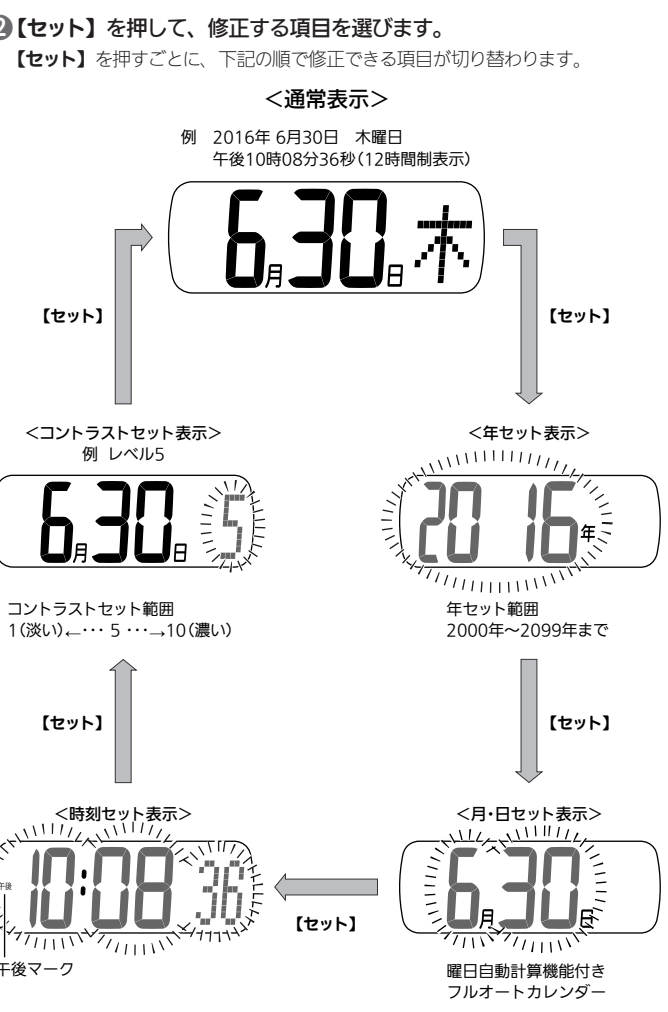
# 時計の設置場所を変更したときは

新しい設置場所でボタンを操作して電波受信を行い(ボタンを押して電波を受信する(手動受信))参照、電波の受信状況(電波の届きかた)を確認してください。

# ボタンを押して時刻などを修正する

電波が受信できないときに、ボタンを押して時刻を修正します。

- ① [セット] を押して、時刻などを修正する状態(セット状態)にします。
② [セット] を押して、修正する項目を選びます。



- ③ [+ ] または [- ] を押して、年月日や時刻などを修正します。
④ [セット] を押して、<通常表示>に戻します。

表示の濃さを見やすく調整する
上記手順2で<コントラストセット表示>を選んで調整します。
・[+] を押す：表示濃度が濃くなります。
・[-] を押す：表示濃度が薄くなります。

# 電池を交換する

「はじめてご使用になるときは」の手順3～5を行ってください。

# 時報機能の使い方

時報機能をオンにすると、チャイムまたは、鳥の鳴き声で毎正時に報知を行います。また、明暗判定センサーにより夜間など部屋が暗いときに、時報を鳴らさない機能が働いています。

注意
・日中でも時計が設置されている周辺の明るさにより、時報が停止することがあります。

時報のオン/オフ
【時報】スイッチでバード/チャイム/オフを切り替えます(バードまたはチャイムで時報マークが点灯します)。



暗いときに時報を鳴らしたい場合は
【時報】スイッチがバードかチャイムのとき、【時報モニター】を約5秒間押し続けて、オン/オフを切り替えます。



・オンに設定すると、液晶表示に常時マークが点灯します。常時時報と表示されている場合は、暗いときでも時報が鳴ります。

# 時報音の切り替え

Table with 2 columns: 時報音の種類 (Chime Type) and 説明 (Description). Rows include Bird, Chime, and Off.

# 時報音量の選択

【音量】スイッチで大/中/小を切り替えます。

# 時報をためしに聞くには

【時報】スイッチがバードかチャイムのとき、【時報モニター】を押すと時報を1回聞くことができます。

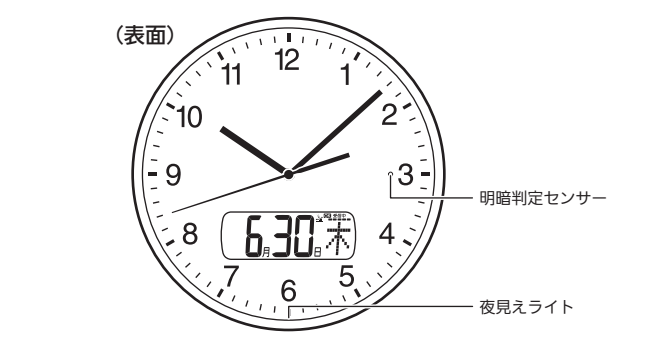
# 夜見えライトの使い方

明暗判定センサーにより、暗くなるとLEDライトが自動的に点灯し、明るくなると自動的に消灯します。

【自動点灯】スイッチで夜見えライトを設定することができます。
強(オン)・・・明るく照らします。
弱(オン)・・・光量を落として照らします。
切(オフ)・・・夜見えライトは点灯しません。

注意
・日中でも時計が設置されている周辺の明るさによりライトが点灯することがあります。
・カーテンや雨戸を締め切った部屋など、1日中暗い環境で使用すると、電池が早く消耗します。
・長期の旅行の際は、夜見えライトを「切」に設定してください。

Table with 2 columns: 夜見えライトの設定と電池寿命の目安 (Night Light Setting and Battery Life Guide) and 照明的明るさ (Illumination Brightness). Rows show light intensity levels and battery life in months.



秒針停止機能(明暗判定センサー付き)
部屋が暗くなると、秒針が00秒の位置で停止して、秒針のコチコチ音がなくなります。部屋が明るくなると、秒針が動き始めます。

注意
・電波受信中は明暗判定センサーが停止します。電波受信中に周囲の明るさが変化した場合も、電波受信終了後に夜見えライトの点灯・消灯や秒針停止・動作が切り替わります。
・夜見えライトや秒針停止機能の反応が遅い場合は、自動受信中の可能性があります。
・日中でも時計が設置されている周辺の明るさにより、夜見えライトが点灯したり、秒針が停止することがあります。
・針の影が、明暗判定センサーの上にあると、夜見えライトが点灯したり、秒針が停止することがあります。